



ヨコハマまちかど政治

かわら版

発行 自民党かながわ1区支部
編集長 平木 茂
平成21年11月1日号

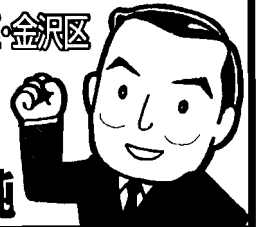
2009年
11月号
No.82

自民党

中区・磯子区・金沢区

神奈川1区
支部長

松本純



松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

11月は臨時国会の論戦にご注目!

副幹事長として、自民党の再生に全力を尽くします

中川昭一さんが亡くなりました。今年5月の太平洋・島サミットで北海道を訪れた際に中川さんの地元立ち寄り、じゃがいもをご馳走になりました。何度か会合もご一緒しましたが、腰痛のためクッションを持参されて、わたしの話に懸命に耳を傾けていただいた姿が印象に残っています。心からご冥福をお祈りします。

中川さんは、保守の理念を訴え続けた政治家でした。中川さんの記者会見は厳しい批判を受けましたが、自民党を立て直すために、中川さんが訴えた保守の理念を打ち出すことは、いま大事なテーマとなっています。



中川昭一さんの地元・北海道帯広で（2009年5月）一番右端にいる私のお隣りが中川さんです

日本の伝統や文化、地域の絆など、守るべきものは守り、大切なものを守り続けるためにこそ、変えるべきものは大胆に変えていかなければなりません。

保守の理念という、少し分かりづらいかも知れませんが、わたしの考える保守の理念は、「汗をかいた人が等しく報われる社会」をつくっていくことです。そのために自民党はどのような政党であるべきなのか。将来に向けたビジョンを掲げ、それを実現させていく政策を分かりやすくお示ししなければなりません。

皆さんの信頼を失ったのはなぜなのか、自民党はどんな新しい「旗」を立てていくべきなのか、いま自民党では懸命な議論が続いています。谷垣新総裁のもと、自民党の新しい布陣が決まりました。谷垣総裁のリーダーシップのもとで、大島幹事長を中心とした幹事長室が再生に向けたエンジンとなります。

わたしは大島幹事長のもとで5回目の副幹事長になりました。これまでの経験のすべてを出し切って、自民党の再生に取り組む覚悟です。

11月は臨時国会です。ハッ場ダムの問題や予算の凍結など、民主党はマニフェスト至上主義のようにみえます。マニフェストは大事なものです。しかし、マニフェストに書いてあるからと言って、地元の声も無視して何でも進めていくやり方には疑問も感じます。自民党は、ただただ反対する野党ではなく、「自民党であればこうする」という案をしっかりとお示ししながら、鳩山政権の問題点を厳しく追及していきます。その最初の舞台となる臨時国会での国会論戦に是非ともご注目ください。

松本議員の活動レポート

臨時国会の論戦が始まりました。衆議院では、私は、消費者問題に関する特別委員会の次席理事となり、国民の生活に密着した問題に真正面から取り組むことになりました。ちなみに筆頭理事は野田聖子議員ですので、党内外から「強力コンビで、頼むよ」と励まをいただいています。もう一つ、厚生労働委員会の委員にもなったため、こちらも含めて、私のライフワークである医療、健康、介護、年金などの得意分野を舞台に、身近な問題解決に動き回っています。食品と薬の両方の問題からアプローチしてきた私の取り組みに専門家からも期待の声が寄せられ、私にとって「ライフワークの国会論戦」になっています。

<9月>

- 25日 ● 総裁選・党本部で河野太郎事務所の打ち合わせ 第1回くるくる関内の説明会に参加
- 26日 ● 磯子まつり開会式
- 27日 ● 金沢消防団第8分団消防訓練激励
- 28日 ● 総裁選投票日、終了後に河野太郎報告会

<10月>

- 3日 ● 党横浜市連議員総会 野毛大道芸、事務所の前もにぎわいました
- 7日 ● 参院補選神奈川1区決起大会（杉田劇場）
- 8日 ● 故中川昭一先生通夜（麻布山善福寺）
- 11日 ● 日本薬剤師会学術大会（滋賀県大津市）
- 14日 ● 党役員連絡会初顔合わせ
- 17日 ● 金沢まつりいきいきフェスタ

いま地域で（人・まち・出来事）

高齢者福祉の拡充は 人材育成から

特別養護老人ホーム
「本牧ホーム」

永島摩利子 施設長



今国会で厚生労働委員会の委員に就任した私は、地元での福祉のエキスパート・特別養護老人ホーム「本牧ホーム」の施設長・永島摩利子さんにお話を伺いました。

「利用者様にとって、ホームは家庭であり、ご自分の街です」と語る永島さんは、「お家での生活と変わることなくお過ごしいただきたいとの願いから、ベッドは番地を表示しています」と、長期入所60床、ショートステイ40床、合計100床の施設を案内してくださいました。

開所して早10年。めまぐるしく変わった介護保険制度によって、ホームの経営も決して楽ではないはず。「それでもスタッフ一同頑張っています」と笑顔の永島さん。たくさんある課題の中でも一番の問題は、「どこの施設でも働き手が少なく、決して高収入と言えるわけではないこと」。「職員にとって夢も希望もない職場であってはいけないと思います」と、笑顔の中に現場で働く皆さんへの思いやりが感じられました。

制度改正に当たっては「国は現場の状況を見て、ご利用者様のために改正を行ってほしい」とのこと。利用者のために、併せて現場職員が働きやすい環境整備が、早急に必要との思いを強くしました。



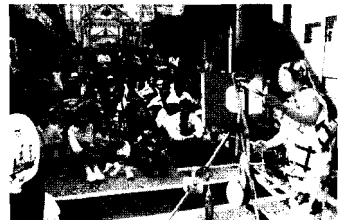
▲ 9/25 磯子区理容組合の定例会で、景気の現状など、熱心な意見交換でした。



▲ 9/27 金沢消防団第8分団消防訓練を激励に伺いました。見事な動きの一言！



▲ 10/4 アソカ幼稚園運動会で、園児たちの元気な姿に声援を送りました。



▲ 10/4 大いに盛り上がった野毛大道芸。私の事務所前も笑顔、笑顔、笑顔でした。

みんなの声

● 地元で長年活動している代議士が、地元を知らない新人に負けるようなことではダメだろう。そんなだらしない自民党ではなかったはず。何が問題だったのかを明らかにして、もっと頑張してほしい。（金沢区男性）

● エコポイントやエコカー減税が、なくなってしまうらどうなるの？ 議論もなく一度決まったことがなくなると、制度は訳の分からないものになる。それこそ政治の信頼を失うことだ。（磯子区女性）

永田町日記 足場を固め再出発！地域ネットワークを強化します

党再生と政権奪還に向けて、谷垣総裁の直属機関「政権構想会議」が10月16日、初会合を開き、新しい自民党が本格的に動き出しました。委員には、地方の代表として長野の県会議員と藤代耕一横浜市会議員の2人が参加し、毎週の会議で活躍しています。谷垣総裁は「足場を固めなければ再出発ができない」と強調しました。全国の代表として選ばれた藤代市議には、横浜の生の声を反映させて地方組織のこれからのあり方を大いに提起してもらいたいと期待しています。地域では、新しい支部長選などが始まりましたが、地域の広範な人たちと強いネットワークを持った支部組織をつくり、新たなムーブメントを横浜で起こしたいと考えています。ご支援ください。（純）



熱い議論が交わされた自民党政権構想会議にて